

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 1 回たかまつ創生総合戦略推進懇談会
開 催 日 時	平成 2 8 年 5 月 3 1 日 (火) 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 2 0 分
開 催 場 所	高松市役所 3 階 3 2 会 議 室
議 題	(1)会長・副会長の選任について (2)たかまつ創生総合戦略等について (3)たかまつ創生総合戦略・地方創生関連交付金 に関する効果検証について (4)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員 (1 2 名)	石田委員、条井委員、桑村委員、坂口委員、 佃委員、徳倉委員、中橋委員、野田委員、 東原委員、藤田委員、三井委員、柳委員
傍 聴 者	2 人 (定員 5 人)
担 当 課 及 び 連 絡 先	政策課 8 3 9 - 2 1 3 5

会議の経過及び結果

会議の冒頭、委嘱状を交付し、加藤副市長からの挨拶の後、議事に移った。

(1) 会長・副会長の選任について

たかまつ創生総合戦略推進懇談会設置要綱第 5 条第 2 項の規定に基づき、委員の互選により会長が、会長指名により副会長が選任された。

会長 佃 昌道 委員・副会長 野田 法子 委員

(2) 会議の公開について

本懇談会では、個人情報等、非公開となるような事項の審議は想定されないことから、今後の会議について公開とすることとした。

(3) たかまつ創生総合戦略等について

事務局から、たかまつ創生総合戦略及びたかまつ人口ビジョンについて説明し、各委員に発言を求めたが特に意見はなかった。

(4) たかまつ創生総合戦略・地方創生関連交付金に関する効果検証について

事務局から、たかまつ創生総合戦略の効果的・効率的な推進を図るため、たかまつ創生総合戦略・地方創生関連交付金に関する効果検証の方法について、資料を基に説明し、委員から意見や質問等を求めた。

(会長)

たかまつ創生総合戦略については、同総合戦略に登載された事業などを、毎年度見直す必要があるため、本懇談会において、事業の評価を行う。今年度は、平成27年度に実施された事業の効果検証を行う。

また、地方創生関連交付金に係る全ての事業については、外部有識者等の意見聴取を行う必要があるため、本懇談会がその役割を担うこととなる。

(委員)

資料4-1の中段の項目(具体的な施策：健やかな成長を促す学びへの支援)で、重要業績評価指標(KPI)が「認定こども園数」となっている。また、そのKPIを達成するための事業が、資料4-1の同欄右側の「こども未来館等開館記念事業」となっているが、こども未来館等の開館記念事業が、認定こども園数の増加に関連していないように思うがどうか？

※重要業績評価指標(KPI)とは…

Key Performance Indicator の略称。

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

(事務局)

・各施策の目標の達成度を評価するため、わかりやすい指標として設定したものが、KPIである。また、施策の目標を達成するために実施を計画しているものが、各種の事業である。そのため、個別の事業とKPIが直接関係しない場合もあり、KPIの数値目標の達成に、各事業の推進が、必ずしも有効であるようには見えない事例もある。

(委員)

・具体的な施策「健やかな成長を促す学びへの支援」は、KPIの設定が難しい施策であるので、国が設置を推進している「認定こども園数」をKPIにしていると思う。また、こども未来館の開館後は、認定こども園の設置推進に向けたPRを行うものと考える。

(委員)

・資料中のKPIである認定こども園の施設数は、現状値が1となっているが、どの施設か？

(事務局)

・KPIの現状値は、平成26年度の数値となっており、「認定こども園やしま幼稚園」が当該施設に該当する。認定こども園は、27年度に公立5園・私立2園を新たに設置している。

・たかまつ創生総合戦略は、27年度に作成しており、28年度に予算化した新規の事業は冊子に掲載していない。そのため、28年度新規事業の一覧を、資料4-1で示している。

(委員)

・資料4-1の下段のKPI（子育て支援拠点施設設置割合）は、現状値100%となっており、施設数の数値目標は既に達成しているが、支援の質も重要である。

・KPIなどの数字で見える部分だけではなく、それ以外の部分も関係課を交えて議論し、施策目標の達成に向けた実のある会議としていかなければならない。

・たかまつ創生総合戦略冊子の23ページに、保育施設等待機児童の解消を目標としたKPIが掲載されているが、今年度、待機児童数は大幅に増えた。その原因として、今年度から第2子以降の幼稚園・保育所などの利用料免除をはじめたことが大きく影響している。このようなことが無いように、子育て支援の優先順位と制度導入のタイミングなどを十分考えてほしい。

(事務局)

・委員の方の御意見などは、担当局・課と内容等を協議し、担当課の本懇談会への参加等も含め検討したい。

(会長)

・本懇談会で、事務局より示された効果検証を行う必要があるので、委員の方々に御協力をお願いしたい。

(5)その他について

(事務局)

・第2回たかまつ創生総合戦略推進懇談会は、8/23に開催予定であり、その際に事業の効果検証を行う。7月頃、各委員の方に効果検証に必要な資料を送付し、各委員からの回答内容を取りまとめたくうえで、第2回の懇談会で示す。

以上をもって、本日の会議を終了することとした。

(閉会)